

登録地域建造物資産



第37号

笠寺観音 手水舎

かさでらかんのん てみずしゃ

所在地	南区笠寺町上新町83
年代	昭和8年築
用途	寺院

笠寺西門から境内へ入ると右手に多宝塔、次に右手に入母屋造の屋根を持った建物が「笠寺観音手水舎」です。

立派な屋根を支えるためか、柱構えが「四方転び」であり、また四方夫々が3本柱であるということが建物の重厚さを感じさせています。

また、一般的に手水舎は四方に開放されていますが、こちらでは二方向のみで閉鎖された南、西面には火灯窓が施されています。

